

# 教育機関との連携

対象	平成23年度	平成24年度	平成25年度
大学 大学院	早稲田大学「オーラルヒストリー方法論」、慶應義塾法科大学院、学習院大学アーカイブズ学専攻など 7校73人	税務大学校、明治大学文学部、法政大学通信教育部、中央大学大学院記録史料学教室、学習院大学アーカイブズ学専攻など 6校123人	青山学院大学文学部、法政大学通信教育部、中央大学大学院記録史料学教室、立命館大学文学部、学習院大学アーカイブズ学専攻など 10校196人
	うち文学・歴史学・アーカイブズ学以外 慶應義塾大学法科大学院 6人	税務大学校 42人	福岡大学・専修大学法学部 52人 東京大学教育学部 19人
高校 中学校	仙台市立南吉成中学校、牛久栄進高校(分館)、熊谷高校(分館)、学習院女子高等科 4校92人	仙台市立南吉成中学校、牛久栄進高校(分館)、熊谷高校(分館)、那須高原海城中学・高校、鹿児島中央高校(分館) 5校139人	①見学等の受入れ 仙台市立南吉成中学校、熊谷高校(分館) 2校49人 ②ワークショップの開催 中高生のための国立公文書館体験ツアー(8/23) 20人
小学校	—	「子ども霞が関見学デー」への出展(8/8~8/9)	①見学等の受入れ 江東区立東川小学校 40人 ②ワークショップの開催 国立公文書館1日体験ツアー(8/7~8/8) 23人(保護者を除く)

※平成23年度より高等教育機関と連携した取組として、大学又は大学院の在籍者を対象とするインターンシップの受入れを開始。  
(平成25年度実績:学習院大学アーカイブズ学専攻等2機関2人)

## <参考> 児童・生徒を対象とした東京国立博物館の主な取組事例

平成24年度 主要事業	概 要	開催実績・参加者
体験型プログラム	「トーハク140周年すごろく」の製作や「アジアの占い体験」など平常展に関連したもの	期間：4/1～12/24,1/2～3、 1/2～3/31 計 3回で91,852人
	唐紙の製作や動くエビの金工細工、考古学者体験など、子ども・おとな・ファミリーの各層をターゲットとしたワークショップ	期間：各回1日 計 21回で369人
スクールプログラム	総合的学習での見学を想定し、ガイダンスや鑑賞教育プログラムを実施 ※視覚障害者のためのプログラムもあり	期間：年間 小学校 23校1,086人 中学校 89校4,499人 高 校 48校2,311人
職場体験の受入れ	生涯学習ボランティアとともに利用者の案内やアクティビティ補助などのサービス業務を体験	期間：年間 中学校 16校51人 高 校 10校35人
教員対象事業 (教員鑑賞会)	スクールプログラムを中心とした博物館の利用や展示用のジュニアガイドの活用方法を説明して展示を紹介、指導要領と関連した事業案も提案	期間：展示会毎(5回) 計 874人

# 諸外国における学習の取組

## アメリカ 国立公文書記録管理院 National Archives and Records Administration (NARA)

### ◆ 教員向けプログラム

- 国立公文書館所蔵資料を使って授業を行うためのワークショップを開催。
- 教員向けの様々なコンテンツを提供するサイト(DOCSTEACH)で所蔵資料の画像及び解説、教材例等を提供。
- 国立公文書館の教育プログラムに関するブログ、フェイスブック、ツイッターを開設。

Choose from **thousands** of primary sources for use in classroom activities.

We have selected thousands of primary source documents to bring the past to life as classroom teaching tools from the billions preserved at the National Archives. Use the search field above to find written documents, images, maps, charts, graphs, audio and video in our ever-expanding collection that spans the course of American history.

★ Registered users can **bookmark documents by starring them.**

**Historical Eras**  
Documents are categorized according to the National History Standards. [Learn more about standards.](#)

- Revolution and the New Nation** (1754-1820s) documents
- Expansion and Reform** (1801-1861) documents
- Civil War and Reconstruction** (1850-1877) documents
- The Development of the Industrial United States** (1870-1900) documents
- The Emergence of Modern America** (1890-1930) documents

DOCSTEACHトップページ

## ◆ 生徒向けプログラム

- ワシントンDC本館に学生向けの学習センターを設置。文書やポスター、地図など、所蔵資料を使った学習プログラムを提供。
- 現在、連邦政府の活動が憲法の規定に基づいて行われていることを体験するプログラム (Constitution-in Action) を提供。11歳以上を対象とし、1グループ12-36名、2時間、無料。
- 2014年1月には、8歳から12歳の子供を対象とし、独立宣言等が展示されているロタンダに宿泊するイベントを開催。南北戦争時の暗号を解読するワークショップなどを行い、その日はロタンダに寝袋で宿泊するもの。



学習センターでのプログラム



ロタンダでの宿泊イベント

## イギリス 国立公文書館 The National Archives(TNA)

- ワークショップ(国立公文書館内の専用教室で開催)、テレビ会議、バーチャル教室の3つのタイプの教育プログラムを実施。また、教師と相談して内容を決めるセミオーダー授業もある。いずれも無料。

### <プログラム例>

- ・ 「ドゥームズデー・ブッカー審判の日」(対象年齢:7-8歳)  
国立公文書館所蔵のドゥームズデー・ブック(ウィリアム1世が行った検地の結果を記録した世界初の土地台帳)を教材として利用。ロールプレイを通じて、資料や歴史への理解を深める。国王の代理人や村役人は本職の役者が演じ、生徒は村人や修道士、ロンドンの商人等の役割を与えられる。
- ・ 「ヘンリー8世の宮廷規則」(中学年向け自由研究キット)  
古文書を教材に、ヘンリー8世や中世の宮廷のしきたりについて学習する。
- ・ 「ロンドン大火」(対象年齢:小学校2年生)  
古地図や炉税還付用書類といった大火に関連する記録を題材に、大火と当時の社会生活について学習する。



ワークショップの様子



## フランス 国立公文書館 Archives nationales

- ヨーロッパ文化遺産の日に、若者向けのワークショップやツアーガイドなどを含む催しを行い、10日間で、3館（パリ館、フォンテーヌブロー館、ピエールフィット館）に11,700人が来場（2013年）。
- 公文書館利用の可能性の発見や、研究対象の明確化を目的として、歴史学及び美術史学専攻の学士3年、修士1年、修士2年の学生向けのイベントを開催。



※特別な日に限らず子供たちがパリの公文書館を来訪、学習している。

- 各館で公文書館の活動や、ドイツの歴史学ぶ機会を提供するために多様なプログラムを展開。
- ルードヴィヒスブルク館とラシュタット館では学校や学習団体のために、アーカイブ教育活動を実施



- 各地の映画フェスティバルで、所蔵映画フィルムを上映。定期的なものとして、例えばライプツィヒドキュメント映画フェスティバルで、所蔵の懐古的フィルムを1週間企画上映。